



神奈川県

KANAGAWA

県立相模原公園

だれもが一緒に遊べる 遊具の体験会



実施記録



令和5年11月

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター

はじめに

神奈川県では共生社会を実現していくため、県立相模原公園で誰もが一緒に遊べる遊具を取り入れたインクルーシブな広場「ともいき広場」の整備に向けた準備を進めています。

今回、相模原公園を会場に令和5年11月1日から12日までの12日間に渡り、障がいのあるお子さんをはじめ多くの子どもたちが一緒に遊べるよう、様々な遊具をそろえた「だれもが一緒に遊べる遊具の体験会」を開催しました。

この体験会は、多くの皆様に県の理念や取組を「知っていただくこと」、障害のあるお子さんも遊べるよう工夫された遊具を「体感していただくこと」、誰もが遊べる遊具広場整備への「要望を聞くこと」を目的に実施したものです。

開催期間中は概ね天候にも恵まれ、約3,600名の皆様にご来場いただきました。

体験会では、子どもたちや保護者の皆様より、数多くの意見や感想をいただきましたので、これらを踏まえ、今後の計画づくりに活かしてまいります。

なお、この記録は、体験会に参加していただいた皆様への感謝とより多くの皆様への周知を目的に作成したもので、「ともいき広場」の整備について関心を持っていただければ幸いです。

最後になりましたが、本体験会の実施にあたりご協力いただきました関係者の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター所長

目次

1.体験会の実施概要	1
2.体験会の実施結果	2
3.会場づくり	4
4.会場の様子	5
5.遊具一覧	7
6.制作物一覧	8
7.体験会の流れ	11
8. 写真で見る体験会	12
9.まとめ	15

1.体験会の実施概要

- (1)イベント名 県立相模原公園 だれもが一緒に遊べる遊具の体験会
- (2)開催趣旨 障がいのあるお子さんをはじめ、多くの子どもたちやそのご家族に実際に遊具で遊んでいただき、遊んだ感想や意見等を今後の設計検討に活かすため開催するものです。
- (3)対象者 子どもとその保護者・保育者
- (4)開催日時 令和5年11月1日(水)～12日(日)(12日間)
9時30分～16時00分
【障がいのあるお子さんの専用時間】
令和5年11月3日(金)4日(土)5日(日)
9時30分～11時及び13時～14時の2回
- (5)開催場所 県立相模原公園 芝生広場(所在地:相模原市南区下溝)
- (6)イベント内容
- ・遊具体験(仮設遊具15基)
内田工業(株)6基、(株)コトブキ3基、タカオ(株)4基、
(株)中村製作所2基
 - ・アンケート調査
 - ①保護者を対象とした調査(タブレット端末及び紙)
 - ②子どもによる気に入った遊具への投票(シール貼付)
- (7)参加費 無料
- (8)主催 神奈川県 (事務局:厚木土木事務所津久井治水センター
県土整備局都市部都市公園課)
- (9)協力
- <体験遊具設営・運営補助>
内田工業(株)、(株)コトブキ、タカオ(株)、(株)中村製作所
 - <会場設営全般・運営補助>
相模原造園協同組合
 - <案内チラシ作成・案内板企画制作>
(株)アスコット
 - <会場計画・アンケート調査・運営補助等>
キタイ設計(株)
 - <広報・会場設営等>
公園指定管理者
(神奈川県公園協会・サカタのタネ・サカタのタネGSグループ)

2. 体験会の実施結果

(1) 来場者数

① 来場者数

3,657 人（大人 1,756 人、子ども 1,901 人）

（以下、上記の内数として把握した団体利用等）

・ 保育園、幼稚園 3 団体 ・ 障害福祉施設 11 施設 ・ その他団体 25 団体

開催期間中、季節外れの夏日や雨や寒さに凍える日もありましたが、子どもたちは元気いっぱいに来場してくれました。

日付	曜日	来場者数			備考
		大人	子ども	計	
11月1日	水	103 人	119 人	222 人	
11月2日	木	68 人	154 人	222 人	
11月3日	金・祝	325 人	342 人	667 人	専用時間の来場者含む
11月4日	土	309 人	308 人	617 人	専用時間の来場者含む
11月5日	日	343 人	327 人	670 人	専用時間の来場者含む
11月6日	月	60 人	137 人	197 人	
11月7日	火	23 人	13 人	36 人	雨天のため 13 時開場
11月8日	水	96 人	87 人	183 人	
11月9日	木	63 人	62 人	125 人	
11月10日	金	14 人	2 人	16 人	雨天のため 10 時 30 分閉場
11月11日	土	145 人	144 人	289 人	
11月12日	日	207 人	206 人	413 人	
合 計		1,756 人	1,901 人	3,657 人	

② 障害のあるお子さんの専用時間の来場者数

287 人（大人 169 人、子ども 118 人）

普段、公園を十分に利用できていないと思われる障害のあるお子さんやそのご家族にも落ち着いて自分のペースで遊具を体験していただけるよう、専用時間を設けました。

日付	曜日	来場者数（専用時間帯）			備考
		大人	子ども	計	
11月3日	金・祝	63 人	31 人	94 人	
11月4日	土	42 人	32 人	74 人	
11月5日	日	64 人	55 人	119 人	

※その他の日・時間帯にも障がいのあるお子さんやそのご家族に多数ご来場いただきました。

2.体験会の実施結果

(2)アンケート回答数

①保護者を対象とした調査（タブレット端末及び紙）

990 件

体験会に参加した保護者の皆様に、実際に遊具を使っていただいた感想や今後の遊具広場整備についてのご意見、ご要望などを伺いました。

来場したほとんどのご家族にご協力いただき、様々なご意見を頂くことができました。



②子どもによる気に入った遊具への投票（シール貼付）

4,811 票（約 1,600 人分）

体験会で遊んだ子どもたちに、楽しかった遊具に1人3つシールを貼ってもらいました。ブランコや回転系遊具など動きのあるものやキャラクター遊具が人気でした。

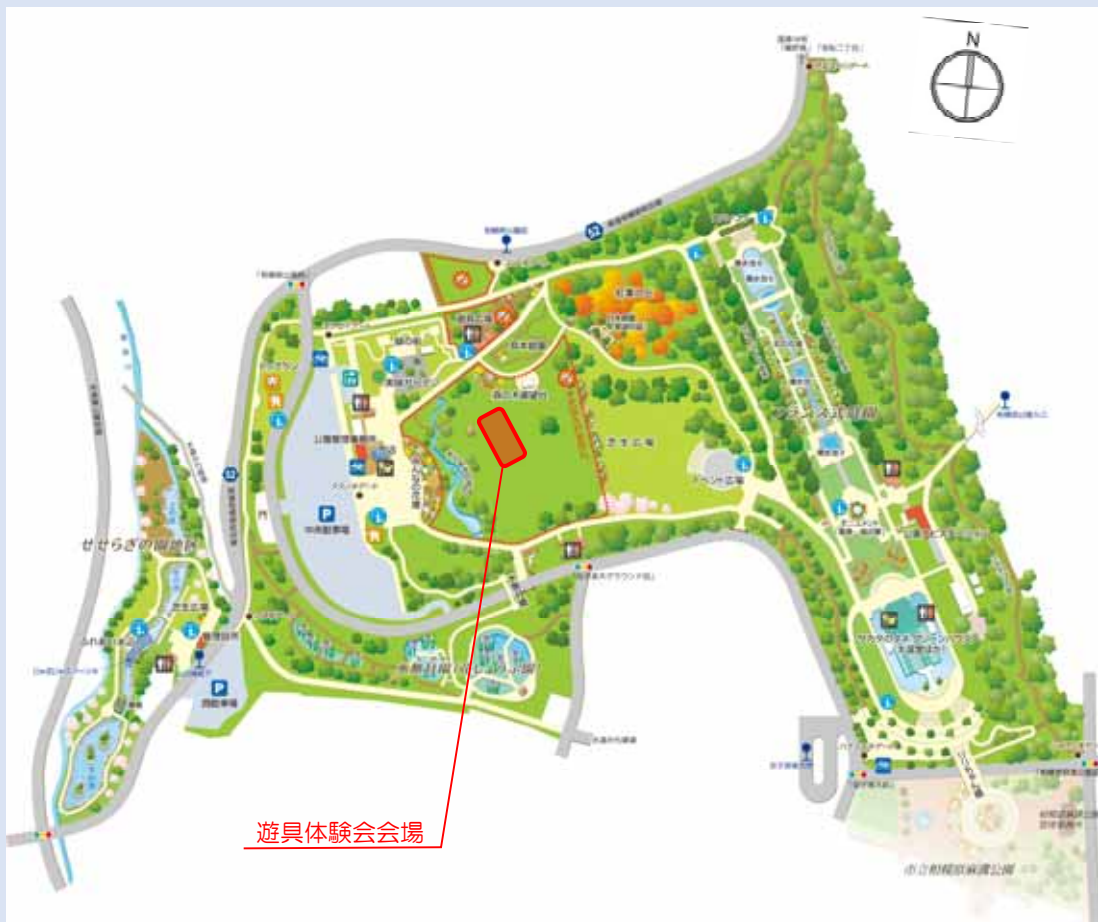


人気投票結果 上位5つ

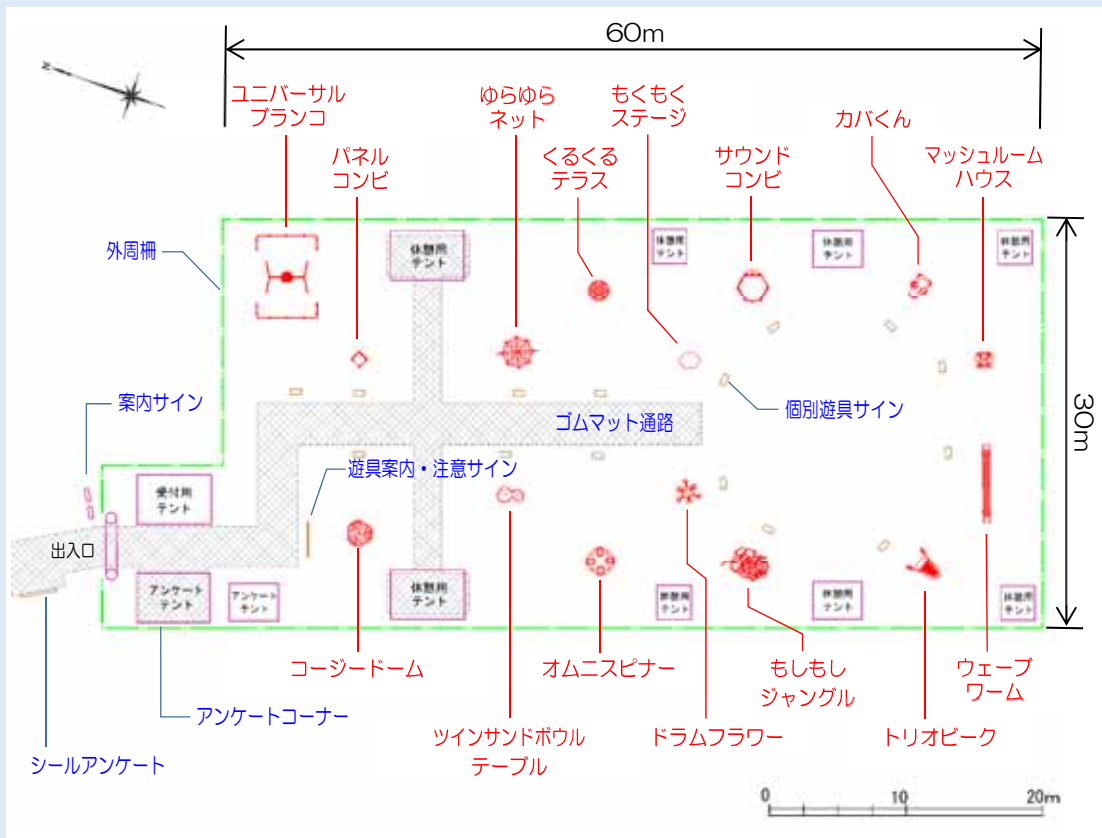
- 1位 ユニバーサルブランコ
- 2位 ウェーブワーム
- 3位 オムニスピナー
- 4位 トリオピーク
- 5位 カバくん

3.会場づくり

会場位置図



会場平面図



4.会場の様子



芝生広場の中に設けたイベント会場（約 1,800 m²）の全景
見守りに配慮して外周にプラスチックフェンスの囲いを設置した



遊具と遊具の間隔を広くとり、余裕を持った空間としている
子どもたちは会場内を自由に動き回り、好きな遊びを選んでいた



車椅子やベビーカーの通行に配慮してゴムマットの通路を設置した

4. 会場の様子

会場風景



協力し合って遊ぶ子どもたち



スタッフによるサポート



会場までの通路



休憩用テント利用状況



休憩用テント利用状況



スタッフによるサポート

入口・受付



会場への入口



受付での注意事項の説明

アンケート



保護者を対象とした調査



子どもによる気に入った遊具への投票

5. 遊具一覧

内田工業(株)



ユニバーサルブランコ
寝そべて楽しむことができ、介護者も一緒に乗ることができる。



パネルコンビ
複数の子どもがパネルを動かして遊ぶ。



ゆらゆらネット
身体を包み込むネットで、寝そべったり、這って移動したりして遊ぶ。



くるくるテラス
コミュニケーションをとりながら楽しめる回転遊具。車いすから乗り降りしやすい高さにもなっている。



もくもくステージ
雲のような形や柔らかな感触が楽しめる。



サウンドコンビ
体を大きく使わなくても、手元だけで音を鳴らして楽しめる。

タカオ(株)



ウェーブワーム
あおむしのような形の滑り台。高さが低いので保護者が付き添って遊べる。



トリオピーク
3箇所に座って遊ぶスプリングシーソー。



もしもしジャングル
ぐにゃぐにゃのパイプに音を伝える管がついている遊具。ジャングルジムのように登って遊ぶこともできる。



ドラムフラワー
花のような見た目のドラムをたたいて音を楽しむ遊具。であり、車椅子に乗ったまま遊べる。

(株) 中村製作所



カバくん
ユニークなカバのデザイン。中に入って気持ちを静かにできる遊具



マッシュルームハウス
中に入って一人で静かに遊んだり、上に登ったりできる。

(株) コトブキ



オムニスピナー
車いすでも乗り込みやすく、自由な姿勢で乗ることができる回転遊具。



ツインサンドボウルテーブル
車いすや歩行器のまま砂遊びができる。



コージードーム
ドームの中に入って一人で静かに遊んだり、上に登ったりできる。

6.制作物一覧

サイズ：A4 両面印刷 (配布数 5,000 枚)

近隣の特別支援学校、児童発達支援センター、幼稚園、保育園、小学校などに配布

(おもて)

(うら)

配布チラシ

サイズ：W900×H1800
W600×H1200

案内サイン



6.制作物一覧

表示内容サイズ：W1200×H900

遊具案内サイン



表示内容サイズ：W1200×H900

注意サイン



表示板サイズ：W348×H450

個別遊具サイン



6.制作物一覧

表示板サイズ：W350×H450

誘導サイン



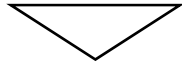
表示板サイズ：W348×H450

案内サイン



7.体験会の流れ

(1)来園



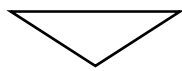
体験会場は駐車場や公園管理事務所から近い芝生広場。アーチ形のパルーンが入口の目印です。

(2)入場・受付



遊具体験をする前に、注意事項の説明を聞いてから入場していただきます。

(3)遊具体験



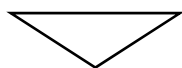
実際に 15 基の遊具を利用してもらいます。スタッフが見守りや遊具の遊び方のレクチャーをします。

(4)アンケート



遊具体験後は保護者の方にタブレットまたは紙によるアンケートの回答をしていただきます。

(5)シールアンケート



お子さんには気に入った3つの遊具を選んで、パネルにシールを貼ってもらいました。

(6)退場



アンケートにご協力いただいた方は飲み物を受け取り、体験会は終了です。

8. 写真で見る体験会

遊具を利用している様子

ユニバーサル
ブランコ



保護者に見守られながら遊ぶ

ユニバーサル
ブランコ



人気のため、順番で利用するように誘導

ユニバーサル
ブランコ



保護者と一緒に遊ぶ

ユニバーサル
ブランコ



小さい子も安心して乗れる座板

パネル
コンビ



パネルで絵柄が合うように遊ぶ

パネル
コンビ



保護者やスタッフに見守られながら遊ぶ

ゆらゆら
ネット



ネットの上に座ったり、登ったりして遊ぶ

ゆらゆら
ネット



外周の円板に乗っても遊べる

もくもく
ステージ



ベンチのように利用できる

もくもく
ステージ



小さい子もよじ登って遊べる

8.写真で見る体験会

遊具を利用している様子

くるくる
テラス



複数の子どもが協力して遊ぶ

くるくる
テラス



保護者と一緒に遊ぶ

サウンド
コンビ



様々な音が鳴る仕掛けがある

サウンド
コンビ



叩く、回すなどシンプルな動作で遊べる

ウェーブ
ワーム



小さい子が遊びやすい高さ

ウェーブ
ワーム



大勢で遊ぶ時は滑る方向を一方に

トリオ
ピーク



子どもと保護者3人で遊べる

トリオ
ピーク



混んでいる時は順番に遊ぶ

もしもし
ジャングル



ジャングルジムのように登って遊べる

もしもし
ジャングル



伝声管のようにして遊べる

8. 写真で見る体験会

ドラム
フラワー



様々な高さがあり、保護者とも遊べる

ドラム
フラワー



叩いて音を鳴らして遊ぶ

カバくん



登ったり、中に入ったりして遊ぶ

マッシュ
ルーム
ハウス



上に登る子を見守る保護者

オムニ
スピナー



乗る子と回す子で役割分担

オムニ
スピナー



中は広く、保護者が介助しやすい

ツインサンド
ポウル
テーブル



高さの違う砂場で身長に合わせて遊びやすい

ツインサンド
ポウル
テーブル



道具も貸し出し、より多様な遊びができるように

コージー
ドーム



登ったり、中に入ったりして遊ぶ

コージー
ドーム



静かに一人で落ち着くスペースにもなる

遊具を利用している様子

9.まとめ

(1)全体のまとめ

体験会にはたくさんのお子様とその保護者の皆様にご来場いただきました。おかげ様で私たちの取組みを知っていただき、今後の遊具広場整備へのご意見を伺うという体験会の目的を達成できたと思います。

私たちも、来場者された皆様が実際に親子や知らない子同士で遊ぶ姿を見たり、保護者の方からお話を聞くなど、貴重な体験をさせていただきました。

また、ほとんどのご家族にアンケートにご協力いただき、数多くのご意見やご感想をいただきましたので、今後の計画づくりに活かしてまいります。

(2)参加者の感想

体験会に参加した皆様から、たくさんのご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。

こういう場に参加するのが初めてでした。意見を伝えられる場を設けていただけて、嬉しかったです。

良い取組みだと思います。障がいがあるお子さんと触れ合うことは社会を知り、理解を促す助けになることだと思います。

体幹が弱いため、ちゃんと座れず怖かった。

知らない子とも仲良くできた。

みんなで楽しく遊べた。

時間が分かれていてゆっくりと遊べた

発達障害があり、あまり人の多い公園で遊ばせてあげるのが難しいので、このような場がもっとできてほしいと思っています。

砂場を利用しにくい子もいると気付かされました。

身体が不自由な方にも楽しめる工夫が随所にあり、みんなで楽しめる場所だと思う。

こういう場所や公園が増えること当たり前になることを望みます。

障がいがある児童も全員同じ遊具で遊べるのはとてもよい取り組みだと今回体験して思いました。

健常の子とも楽しく遊んでいた。

高学年には物足りないようでした。

遊具の種類が多く、子どもがやりたいものを見つげられた。

今回スタッフの方と色々お話ができて良かった。作り手の気持ちや、遊び手の気持ちが共有して皆が楽しめる公園が増えたらと思う。

帰りたくないと言われました。

子どもの笑顔が見られた。一生で一回の笑顔だった。



県立相模原公園 だれもが一緒に遊べる遊具の体験会
実施記録

(令和6年2月作成)

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター
〒252-0157 神奈川県相模原市緑区中野 937-2
電話：042-784-1111 (代表)
FAX：042-784-7696